

くぼ まこと
窪 誠 教授

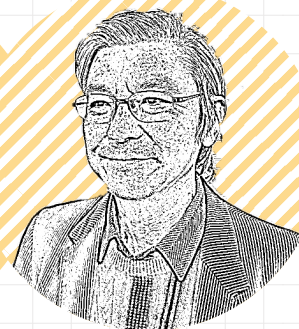
京都大学法学研究科博士後期課程修了(法学修士)
法学博士(フランス・ストラスブール大学法学部)

MAKOTO KUBO

＞ 専門分野 ＜



国際人権論/
人権政策論/
国際関係論



Q 担当科目を教えてください



国際人権論

「権利」というと難しくて近寄りたいたい感じがしますが、英語でもフランス語でも、「～していいんだ」という日常語です。自分が考える「～していいんだ」と他の人が考える「～していいんだ」をどう調和させて良き社会を建設するのかを考えます。

国際関係論

国際社会の支配従属関係が、どのように構造化され機能しているのかを、先住民族、性的マイノリティ、障害者などの弱者の視点から、歴史的に考察します。

演習(ゼミナール)：

高校までは答えがある勉強をしてきました。でも、大学では、資格試験のための勉強を除いては、答えがありません。最先端の新しい問題に取り組むからです。では、どうやって問題を発見するのか、その問題に対する自分なりの答えをどうやって構築して行くのか、いっしょに考えてゆきましょう。

Q 研究のテーマは何ですか？



人間にとって幸せとは何か、それを実現するにはどうするか？

Let's read a book

わたしの
おすすめ本

バナナと日本人
— フィリピン農園と
食卓のあいだ

著者 鶴見良行

出版社 岩波新書

出版 1982年

ISBN 978-4004201991

みなさんにとって、バナナはただの安い果物ですね。でも、私が子どものころは、病人のお見舞いに持ってゆく高級品でした。1980年代、日米の多国籍企業が、フィリピンで人々の健康と生活と環境を破壊して、日本向けバナナのプランテーションを始めました。私たちが日頃何気なく食べているものから国際関係を明らかにした名著です。



Q 研究者ってどんな仕事ですか？



社会に生起するさまざまな事象から、何が問題なのかを明らかにし、事実と論理から考える回答を提示する仕事。

Q 先生ってどんな人？



休みの日は何をしていますか？

自転車での近所探検。自転車で公園、寺院、商店街、未知の街角などを巡ります。



どのような大学生活でしたか？

身体障害者（CP：脳性まひ）の方々の介護をしていました。



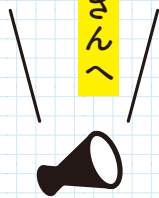
大阪産業大学キャンパスや大学周辺でのおすすめスポットは？

住道駅から大学までの古堤街道（ふるづつみかいどう）。その途中にある恩知川御供田地区雨水貯留施設と平野屋新田会所跡。



恩知川御供田地区雨水貯留施設というと難しそうですが、整備された遊歩道です。季節による草花の変化を楽しむことができます。

ひとこと 学生のみなさんへ



高校を卒業して就職した人は、いきなり社会に飛び込んで、苦労しながらも頑張っています。それに比べ、みなさんには大きなゆとり時間があります。この時間を大切にして、人生とは何か、愛とは何か、神とは何か、自分にとって大切な

価値とは何か、どういう社会を建設したいのかといった、いわゆる「そもそも論」を徹底的に考え、友達と語り合ってください。その経験は一生の宝になります。

